

県議会  
開会

# くらし支える事業拡充を

**9月 補正** 農業振興9億円、福祉・教育・雇用対策30億円  
私立高校授業料軽減の増額など盛り込む

9月29日、県議会9月定例会が開会し、今年度補正予算を含む予算案件4件、副知事の定数を1人に改正する条例を含む条例案件10件、費用負担案件9件など、39件が提出されました。会期は16日までとなっています。

**補正予算案は  
総額294億円**

一般会計補正予算案は、総額294億3800万円で、経済危機対策に係る基金への積立が、新規や拡充を含め177億円を占めています。

新規に創設される基金は、介護職員処遇改善等臨時特別基金、介護基金盤緊急整備等臨時特別基金、地球温暖化対策等推進基金、医療施設耐震化臨時特別基金、高等学校等修学支



2009年10月4日  
第77号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 渡辺ゆり子 一般質問

に立ちます

10/5月

午前 11時頃から約1時間  
質問順はこの日の2番目です

県議会本会議場



質問項目(予定)

- 核兵器廃絶について
- 景気・雇用対策のとりくみ
- 消費者行政の強化
- 高校授業料無償化について
- 最上小国川ダム事業
- 見直しの動きへの対応
- など

▶▶▶ぜひ傍聴においでください

援基金の5基金となっ  
ています。  
林道の改良や舗装、  
地滑り防止対策をはじめとする農林水産業振興に9億円、福祉・教育・雇用環境の整備や防災・安全対策に30億円など  
となっています。

また、企業の資金繰り対策として、「経営安定資金」の融資枠を200億円拡大します。  
県民生活に直接関係するものとして、生活福祉資金の貸付条件の緩和など生活セーフティネット充実に関する予

算措置、高校生の奨学金貸付の増加や私立高校授業料軽減のための増額補正などが含まれています。  
会期中には、鶴岡市議選、同市長選も行われますが、日本共産党県議団は、県民のみなさんの代弁者として奮闘します。



### 雇用創出1万人プラン

### 達成率53%…一層の対策強化を

9月18日、県は雇用創出1万人プランの8月末現在の進捗状況を公表しました。状態が続いています。山形県労連のハローワーク前の求職者アンケート調査では、会社都合による退職が自己都合による退職の2倍となり、失業期間も長期化しています。

分野別では、市町村雇用基金創出分は目標を超える108%ですが、介護・福祉子育て・医療分野は30.1%です。  
また職業訓練関係分野は、まだ訓練中の方もあり、就職実績は1.3%となっています。

要望の自由記述では、再就職口の確保・失業給付の延長、税金・年金や保険料の支払いの免除拡大、解雇防止の法規制などを求める声が多くあがっています。引き続き、国や県の対策強化が求められています。

### 会派構成が変わりました

9月18日に開かれた議会運営委員会では、会派結成届が出されたことが報告され、了承されました。自由民主党(32名)と日本共産党県議団(2名)はそのままですが、県政クラブ(8名)と公明党(1名)となります。

このうち、5名以上の交渉団体で代表質問や議会運営委員会に参加できるのは、自民党と県政クラブの2会派だけです。

### ゆり子の視点

9月19日、山形駅西口広場で開催された「やまがた旬恵祭」に行ってきました。

### やまがた再発見

秋晴れのもと、秋の山形のおいしいものがたくさん並びました。県内各地から参加した、それぞれのテントで産品を自慢し、試食を勧める声が響きます。お客さんもうっぱいで、たまたま訪れた旅行者もびっくりうれし様子です。  
山形市内の方でしょうか、「わたし山形なのに、知らないものがいっぱいある」と会話している声も耳にしました。

ほんとうにその通りで、各地域で特色ある多彩な農水産物や食品加工品を作り出していて、豊かです。関わっている方々のエネルギーも感じられます。

私も以前、置賜の地方議員から「うまいから一度食べてみて」と勧められていた行者菜はじめ、重くなるほど買いたて、秋の味を楽しみました。

こんな山形の食も、人も、地域も、まるごと大切にしたいと思えます。

紙面について読者の方々のご意見を頂き、今号から本文の文字を少し太くしました。今後とも「ご意見・ご感想をお寄せください。」

